

西海研究室30周年記念

'91卒 小林正尚

通りすがりのお店で見かけた文字“VSOP”。ご存じの通り、これはブランデーの等級を表すのだが、私には別な意味を持つ言葉の方が先に思いつく。

30代前半、入社以来働いてきた技術畑から事務系へ異動になったとき、海外の人との交流が増えた。英語の読み・書きは何とかこなせたが、聞く・話すはとても酷いものであった。そんな中、アメリカ出張へ出かけたある日、現地の人から“VSOP”に異なる意味があることを教わった。

年代別自己啓発目標 “VSOP”

20代は【V】“Variety”、すなわち多種多様なことを勉強し、経験し、挑戦する。

30代は【S】“Specialty”、すなわち専門性を高める。

40代は【O】“Originality”、すなわち独創性を身につける。

50代は【P】“Personality”、すなわち個性・人格の形成で仕上げる。

というものである。

20代の【V】・・・

私は、大学3年生の時、研究室選択で西海研究室を第2希望で志願したが、ものの見事に入室となった。(一説によると“西海”と書いた時点で即、入室決定となったそうだが。)機械工学科に入学はしたが、元々、化学系の大学を志望していたので、4年生以降の進路に特に迷いはなかった。

入室後、“バイオリアクターでの装置特性”なるテーマを与えられ、相方の大塚博君と1年を過ごした。物質移動速度、 KLa などとか、断片的に記憶しているのだが、正直、4年生時、何をどのように関わってきたのか、あまり記憶にない。思い出すのは、酵母発酵でできたエタノールを試飲したときのあの味わい…。やはり卒業できたのは、相方が実験などのほとんどを処理してくれていたためであろう。

このまま卒業していくのは心許ないというか心苦しさを感じていた頃、恩師は大学院への道を進めてくれた。卒業後は即就職が当たり前と思っていた時に、別な選択肢を授けてくれた。結局、その道を進んだのであるが、大学院生時代の2年間は良く研究室に通ったというのが今の感想である。

その2年間はフロン混合物の高圧気液平衡と冷媒特性というテーマに従事した。HFC32

という新しいフロンの入手から始まったこのテーマにより、半期毎の学会発表が活動目標の1つとなっていた。測定装置は至る所配管の継ぎ手ばかりで、リークチェック、修理そして測定の繰り返しだった。フロンを充填した翌日、圧力と液面に変化がなければ測定開始の合図だった。テーマを支えてくれた後輩らの協力により、卒業時には HFC32、HFC125、HFC134a の3成分系データが集まった。

恩師が長年手を加えてきた BWR 状態方程式がワークステーション (WS) の Fortran で稼働し始めたのもその頃であった。そのプログラムのサブルーチンにあるエンタルピー、エントロピー計算を使って、冷媒特性を示す COP を計算するサブルーチンを作った。素人発想のプログラムのため、力業で仕上がったものだったが、今も健在だろうか。これも力業で仕上げた修士論文は、学生たちとの PC 争奪戦を避けるために、WS に TeX をインストールし大画面を独り占めして作業した。これらを通じてタイピング速度が人並み以上に成長していたのは私の少ない財産の1つでもある。

その2年で得たものは「自分で考えるようになった」、「なぜ?と思うようになった」など些細なことではあるが、これが入社後の研究者生活を支えてくれた。

新入社員として働き始めた94年。研修先に集まった同期は蒼々たる名を連ねる大学出身者の集まり。スタートラインは皆同じわけであったが、大学院2年間で身につけた小さなプライドというバッテリーをもって仕事に挑戦した。初任給を手に入れたとき、今まで得られなかったその額に喜色満面であった。反面、時間と労働を還元せねばと気を引き締めたのも思い出す。

会社もまた、社則なるルールの下にある小集団。異なる環境・文化の中で、多種多様なことを勉強・経験・挑戦したと思ったのだが・・・

30代の【S】・・・

3回の転勤を経て研究者10年生を迎えたころ、開発に携わった製品を市場へ認知させるべく事業部へ異動になった。本当はずっと製品開発に従事したいと思っていたが、これも経験と言いついて聞かせて次の職場へ向かった。しかし、引き継ぎ・教育などというものはほとんど無しの中、研究者10年生の狭い範囲の知識・知見は全く役に立たなかった。故に、上司・周囲の背中を見ながら自分なりの勉強をしてきたが、その経験の差は何ともし難い。

国内・海外への営業活動をしながら製造・販売・研究を統括していくこの職場は、幅広い知識・経験を求められる。私は今、経験の差を別なもので埋めようとしているが、その【S】はあと1年で達成できるであろうか。

もうすぐ【O】“Originality”の40代。どんな独創性を身につけて50代の個性・人格の形成で仕上げられるのであろうか。

でも、将来の自分の根幹は西海研究室で過ごした、また、恩師から学んだ2年間であることは間違いない。西海研究室卒業生として、志高く私のVSOPを完成させたい。